

東京都立産業貿易センター及び東京都立多摩産業交流センター
指定管理者令和4年度評価委員会

令和5年7月31日（月）13：00～
Web会議併用

午後1時 開会

【八木主任】 13時になりましたので、評価委員会を始めたいと思います。本日は、委員の皆様方には大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。事務局の東京都産業労働局商工部経営支援課の八木でございます。よろしくお願いいたします。

本日は委員4名中3名のご出席を確認しております。東京都立産業貿易センター指定管理者評価委員会設置要綱及び東京都立多摩産業交流センター指定管理者評価委員会設置要綱にのっとりまして、委員過半数の出席を確認しましたので、これより東京都立産業貿易センター及び東京都立多摩産業交流センター指定管理者令和4年度評価委員会を開催いたします。

今、喜多委員も出席を確認しましたので、全委員出席を確認いたしました。

これからの議事進行は東京都産業労働局商工部経営支援課課長代理の西野からさせていただきます。

【西野課長代理】 東京都産業労働局商工部経営支援課の西野でございます。これより議事進行を務めさせていただきます。

初めに、委員会に先立ち、委員の紹介をさせていただきます。

埼玉大学名誉教授、加藤秀雄委員でございます。

【加藤委員】 加藤です。よろしくお願いいたします。

【西野課長代理】 よろしくお願いたします。

続きまして、中小企業診断士、一般社団法人東京都中小企業診断士協会副会長、園田愛一郎委員でございます。

【園田委員】 園田です。よろしくお願いいたします。

【西野課長代理】 よろしくお願いたします。

続きまして、公認会計士、あずさ監査法人パートナー、金子靖委員でございます。

【金子委員】 金子でございます。よろしくお願いいたします。

【西野課長代理】 よろしくお願いたします。

続きまして、公益財団法人大田区産業振興協会地域産業活性化ディレクター、喜多慶造委員でございます。

【喜多委員】 遅れて申し訳ございません。喜多でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【西野課長代理】 よろしくお願いたします。

続きまして、委員長選出でございます。委員長については、資料2、東京都立産業貿易センター指定管理者評価委員会設置要綱及び資料3、東京都立多摩産業交流センター指定管理者評価委員会設置要綱の第4条の2の規定により、委員の互選により定めることとなっております。いかがでしょうか。

【園田委員】 加藤先生を推薦いたします。

【西野課長代理】 ただいま園田委員より、加藤委員を委員長にとご推薦がございました。委員の皆様にお諮りしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

【西野課長代理】 ありがとうございます。それでは、加藤委員に委員長にご就任いただくということをお願いいたします。

これより議事進行は委員長が行うことといたします。加藤委員長、お願いいたします。

【加藤委員長】 それでは、本日はネットでの会議ということで、対面と異なり、相互の意思疎通というのがなかなか難しいかと思えますけれども、皆様のご協力の下に委員会を進めてまいりたいと思えますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、早速でございますけれども、議事に入りたいと思います。

本日は議事事項が2件となっております。

まず、東京都立産業貿易センター指定管理者に対する評価の決定についてでございます。事務局から説明をお願いいたします。

【西野課長代理】 それでは、資料についてご説明させていただきます。

まず、お手元に配付いたしております資料の確認をさせていただきます。資料1としまして当委員会の委員名簿、資料2としまして産業貿易センター指定管理者評価委員会設置要綱、資料4としまして産業貿易センター概要、資料5としまして事務局で作成しました一次評価、資料6としまして指定管理者が提出いたしました事業報告書。以上、全ての資料がお手元にありますでしょうか。

それでは、資料の説明をさせていただきます。

資料4の産業貿易センターの概要は過去の実績の数値を載せており、展示場利用状況、来場者数、事業収支などの実績となっております。

次に、資料5の一次評価をご覧ください。全庁的な評価ルールに基づき評価した結果でございます。

それぞれ最終ページをご覧ください。こちらの左下に書いてございますが、台東館の評価は合計5.2点で「A」、浜松町館の評価は合計5.4点で「A」としております。こちらの評価の詳細を順を追ってご説明いたします。

まず、台東館の評価内容の詳細についてご説明させていただきます。先ほど見ていただきました台東館の評価、A4横の最後のページをご覧ください。調査の右側に、特に評価すべき点を記載しております。展示室の稼働率でございますが、目標38.3%に対しまして実績43.3%、利用料金収入は達成率102.1%と、どちらも目標を達成しており、利用者満足度も98.1%と高くなっております。また、自治体や金融機関等に営業を行い、16社の企業に新規にご利用いただきました。さらに、展示会同時開催のコーディネートを12件行い集客拡大を図り、ビジネスチャンスの創出に努めました。事務所のペーパーレス化にも取り組み、紙の使用量を対前年比60%削減もしております。

続きまして、浜松町館についてご説明させていただきます。お手元にA4横の浜松町館と記載のあるものをご用意ください。

同様に、最終ページ一番下、右側の特記事項をご覧ください。展示室の稼働率でございますが、目標50%に対しまして実績56.6%、会議室の利用状況は達成率111.8%、利用料金収入は達成率110.7%と、どちらも目標を達成しており、利用者満足度も97.4%と高くなっております。また、自治体や金融機関等に営業を行い、新規顧客の獲得と公社事業や外部関係機関の利用につながっております。さらに、中小企業の出展者を公社のタイ事務局につなぎ、現地のマッチング支援を開始しております。事務所のペーパーレス化にも取り組み、紙の使用量を対前年比52%削減もしております。

なお、ただいまご説明いたしました評価の内容につきましては、審議の途中段階であり、まだ指定管理者に伝えることは適当ではございませんので、この後に行います指定管理者との質疑応答の際にはご留意くださいますよう、よろしくお願いいたします。

続きまして、資料6の事業報告書でございます。台東館、浜松町館、それぞれ様式1の事業報告書に令和4年度の事業をまとめており、各項目の根拠資料として様式2以下を添付しております。また、取組の具体的な内容の説明資料としまして附属資料を添付しておりますので、併せてご参照ください。

最後に、これらの資料の取扱いについて1点お諮りいたします。本委員会における配付資料は、資料2、東京都立産業貿易センター指定管理者評価委員会設置要綱第7条の2において、原則として公開することとされており、非公開とする場合は委員会の議決が必要であると定めております。本日の配付資料のうち、事業報告書の附属資料につきましては、資料中に具体的なご利用者名や指定管理者が行いました契約情報、その他、指定管理者の経営ノウハウに関わる情報が含まれておりますことから、委員会の議決を得まして非公開とさせていただきたいと存じます。

私からの説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

【加藤委員長】 ありがとうございます。最後の点でございますけれども、ただいま事務局からも説明がございましたけれども、配付資料の一部を非公開とすることにつきまして、ご意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

【加藤委員長】 ありがとうございます。それでは、事務局提案のとおり、配付資料の一部を非公開として取り扱うことといたします。

続きまして、指定管理者職員にご参加いただき、ただいまの事務局からの説明及び事業内容につきまして、質疑に移らせていただきたいと思います。

それでは、公社の入場をお願いいたします。

(指定管理者職員 参加)

【西野課長代理】 それでは、紹介をさせていただきます。

令和4年度東京都立産業貿易センターの指定管理者である公益財団法人東京都中小企業振興公社、大場順二企画管理部企画課長でございます。

【大場課長】 よろしくお願いたします。

【西野課長代理】 よろしくお願いたします。

続きまして、産業貿易センター浜松町館、木村正幸館長でございます。

【木村館長】 よろしくお願いたします。

【西野課長代理】 よろしくお願いたします。

続きまして、産業貿易センター台東館でございます。井上里絵館長でございます。

【井上館長】 すみません、私のアカウントからログインがつかないもので、こちらでご挨拶させていただきます。台東館の井上です。

【西野課長代理】 よろしくお願いたします。

以上で指定管理者職員の紹介を終わります。

【加藤委員長】 それでは、質疑応答に移らせていただきたいと思います。事業内容に関しまして、指定管理者へのご質問がございましたらよろしくお願い申し上げます。いかがでございますでしょうか。手を挙げていただければ、よく分かると思います。特にどなたからでも何でも結構なんですけれども。

【園田委員】 台東館の利用状況について1件ちょっと質問があるんですけども、展示室は予測を上回ったんですけども、会議室だけが下回っているのは、台東館は何か理由があるんでしょうか。

【井上館長】 具体的に明確な理由というのは分からないんですけども、台東館の会議室、割と人数が小規模になりまして、コロナの最中だと、広く間を取って使うというのがしづらかったと思ひまして、令和4年度はそこまで利用は伸びなかったかなと思っております。現在、令和5年度に入って利用が増えておりますので、コロナの影響であったかなと、こちらでは分析しております。

【園田委員】 もし会議室が使いにくいというようなことがあれば、面積を広げるとするのはなかなか難しいのかもしれないんですけども、何かあれば工夫をしていただければと思います。

私のほうからは以上です。

【井上館長】 今後、その辺検討していきたいと思ひます。ありがとうございます。

【加藤委員長】 そのほかにございますでしょうか。どうぞ。

【喜多委員】 すみません、2点ございまして、まず1点目は浜松町館さんなんですけれども、プロジェクトマッピングを動線案内で導入されたということをお伺いしまして、どうでしょう。その効果といいますか、評判とか、そういったものが何かありましたら教えていただきたいのがまず1点です。

それと2点目は、浜松町館さんと台東館さんがそれぞれ合同でデジタル化に向けたシステムのリニューアルを見据えていろいろ検討されているということをお伺いしているんですけども、いつ頃リニューアルをされるご予定なんでしょうか。

その2点、ちょっと教えていただければと思います。

【木村館長】 では、浜松町館のほうから回答させていただきます。

まず1つ目のご質問でございますが、館内案内用のプロジェクトマッピングでございますが、場所としては、ビルの入り口入ってすぐのところに、これはビル側と調整をして置いていただいたというものになります。入り口を入られた方は分かるかと思うんですが、ソフトバンクさんの本社が上にあるものですから、そちらのエレベーターのほうにどうしても行きがちでございまして、そこを、そうでない展示会場のほうに誘導するという目的で置いたものでございます。なかなか（誘導）サインが置けないというビル側の都合があるものですから、マッピングで取りあえず提案して対応していただいたんですが、ちょっとまだ数が少ないということで、それで根本的な解決には至らないんですが、入ってきてすぐ左に気づくという点では一定の効果はあるのかなと感じております。

2点目のシステムのリニューアルのためのプロジェクトでございますが、今年度中につくっていつ、実際には来年度に運用していきたいと思っております。それを行うことで、より利便性を高めるオンライン申請の簡便化でありましたり、あるいは私どものほうでデータを分析して次の営業につなげるなど活用していきたいと考えております。

【喜多委員】 ありがとうございます。

【加藤委員長】 ほかにいかがでしょうか。

【金子委員】 よろしいでしょうか。

【加藤委員長】 どうぞ。

【金子委員】 ありがとうございます。金子です。最近のご利用者のニーズとして、いわゆるインターネット環境が整備されているかどうかは利用者の方のニーズが高いところかと思うんですけども、大容量のインターネットに対応する形で大分投資というか、整備されているというような記載も

確認をさせていただいたんですが、このあたり、利用者の方から反応といたしますか、評価といたしますか、そういったことがもし具体的に返ってきているものがあれば教えていただけますでしょうか。

【木村館長】 浜松町館でございますが、やはりコロナを経て一番変わったのがそのところで、ハイブリッドを含めてインターネットの活用ということになりまして、実際、利用件数は大幅に増えております。

高速大容量のインターネットでございますが、やはり一斉通信のようなものではなくて、セミナー、シンポジウムも含めてですけれども、双方向のものですとか、あるいはセールをやるときの決済に関わったりすることもあったりとか、そういう重要なものに関しましては高速専用回線を用いられるケースが多いのかなと思っております。これまで外部に工事を委託しなければいけなかった部分がありますので、それが館のサービスとして利用できるということは喜んでいただいているという声を聞いております。

【金子委員】 ありがとうございます。

【加藤委員長】 ほかにいかがでございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、私のほうから1点お聞きしたいと思うんですけれども、コロナ禍というのも、令和2年度、3年度と経過して、昨年度4年度につきましては大分事情が変わってきたのか、運営上どのような変化、どのような対応ができるようになったのかというご苦労といたしますか、そういったところのお話をお伺いできればと思います。それを受けて昨今の状況、これから少し事情が変わるのかなと思うんですけれども、どんなふうな運営をなさっているのかについてご説明いただければと思います。

【木村館長】 まず、浜松町館のほうでございますが、やはり先ほどとも関連するんですが、大きな流れとしましては、展示会を含めてハイブリッド化というのが進んでいるという状況はあると思います。それに伴って、これまで例えば、うちの場合、階層式になるんですけれども、ツーフロア使っていたところの一部ハイブリッドということによって規模が縮小され、ワンフロアになるみたいなケースは実際起きています。また、販売チャネルがちょっと広がってしまった、eコマースなどが普及したということもあって在庫の扱いも減ってきて催事の規模が縮小するみたいなことは、脅威としてはあると感じております。

一方で、そういう通信環境を整えていくことによって、より展示会として選ばれていくということはあるので、先ほどの高速インターネットもそうですが、利便性、お客様の声に耳を傾けて、それに対応していくことで、より選ばれる施設になっていきたいと感じております。

【井上館長】 台東館のほうは、コロナが明けてきて利用が増えてきたところになっておりまして、ただ、従来ご利用いただいていた繊維ですとか、革ですとか雑貨、そういったお客様が少し業況が変わってこられて、催事自体、あとはファミリーセールみたいな催事がネット販売の普及などで減ってきているというような状況もございまして、それに代わって新規のお客様が少しずつ増えてきている、また利用方法の違うお客様が増えてきているという状況がございます。

こういった新しい利用者様を取り込んでいくというのが館としても一つ必要なことかなと思っておりまして、そのために、新しい利用者様、まだ催事ごとに不慣れな利用者さんも結構いらっしゃいますので、そういった中で、館としての今までの催事のノウハウを活用いたしまして、新しい事業者様がスムーズにこういった催事ごとをやっていけるようにサポートしていくところが重要だと考えております。

【加藤委員長】 ありがとうございます。ほかにご質問ございますでしょうか。

(「なし」との声あり)

【加藤委員長】 それでは、質疑応答は以上とさせていただきます。

指定管理者の職員の方は、ここで退席をお願いいたします。どうもありがとうございました。

(指定管理者職員 退席)

【加藤委員長】 では、先ほどの事務局からの説明、また質疑応答を踏まえまして、評価委員会としての評価をまとめたいと思います。

事務局から一次評価が示されておりますけれども、これまでの議論を踏まえてご意見ございますでしょうか。特によろしいでしょうか。

それでは、評価委員会の評価につきましては、ただいまのご意見等々も反映した形でまとめてまいりたいと思いますけれども、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

【加藤委員長】 ご異議ないようですので、本評価委員会での評価につきましては、台東館「A」、浜松町館「A」といたします。

これで終了になります。

それでは、次の議事に移ります。東京都立多摩産業交流センター指定管理者に対する評価の決定についてでございます。事務局からご説明をお願いしたいと思います。

【西野課長代理】 それでは、資料についてご説明させていただきます。

まず、お手元に配付いたしております資料の確認をさせていただきます。資料3としまして多摩産業交流センター指定管理者評価委員会設置要綱、資料7としまして事務局で作成しました一次評価、資料8としまして指定管理者が提出いたしました事業報告書。以上、全ての資料がお手元にありますでしょうか。

それでは、資料の説明をさせていただきます。資料7の一次評価をご覧ください。全庁的な評価ルールに基づき評価した結果でございます。

最終ページをご覧ください。こちらの左下に書いてございます評価は合計54点で「A」としております。

こちらの評価の詳細を順を追ってご説明いたします。先ほど見ていただきましたA4横の最後のページをご覧ください。評価の右側に、特に評価すべき点を記載しております。施設稼働率でございますが、計画値を大きく上回る実績となり、開業初年度から順調な滑り出しとなりました。また、自主事業によるサービスを計画よりも充実させ、利用者アンケートにおいて100%の好意的な評価を得ることができました。さらに、多摩地域全市の市役所、商工会を訪問し、広域的ネットワークの構築に努めました。

なお、ただいまご説明いたしました評価の内容につきましては、審議の途中段階であり、まだ指定管理者に伝えることは適当ではございませんので、この後に行います指定管理者との質疑応答の際にはご留意くださいますよう、よろしくお願いいたします。

続きまして、資料8の事業報告書でございます。様式1の事業報告書に令和4年度の事業をまとめており、各項目の根拠資料として、様式に以下を添付しております。

私からの説明は以上でございます。

【加藤委員長】 ありがとうございました。

続きまして、指定管理者職員にご参加いただき、ただいまの事務局からの説明及び事業内容につきまして、質疑に移らせていただきたいと思います。

それでは、入室のほどお願いします。

(指定管理者職員 参加)

【西野課長代理】 それでは、紹介をさせていただきます。

令和4年度東京都立多摩産業交流センターの指定管理者である多摩産業交流センター指定管理共同企業体の代表企業である日本コンベンションサービス株式会社、石井正樹センター長でございます。

【石井センター長】 石井でございます。よろしく願いいたします。

【西野課長代理】 よろしく願いいたします。

続きまして、同じく令和4年度東京都立多摩産業交流センターの指定管理者である多摩産業交流センター指定管理共同企業体の構成企業である株式会社京王設備サービス、上條浩事業所長でございます。

【上條所長】 よろしく願いいたします。

【西野課長代理】 よろしく願いいたします。

以上で指定管理者の職員のご紹介を終わります。

【加藤委員長】 それでは、質疑応答に移らせていただきたいと思います。

事業内容など対しまして、指定管理者へのご質問でございますでしょうか。挙手してお願いいたします。

【園田委員】 2点ほど質問させていただきます。

まず、初年度稼働率が予測をかなり上回った要因について教えてください。

それからもう一つ、初年度の運営面についてなんですけれども、当初予測しなかったような課題、問題点が起こったのであれば、それを教えていただくとともに、どういうふうに解決したのかも教えていただければ幸いです。よろしく願いいたします。

【石井センター長】 ありがとうございます。では、副センター長の松浦のほうから回答させていただきます。

【松浦副センター長】 副センター長、松浦から回答させていただきます。ご質問ありがとうございました。

初年度の稼働率については、資料にありますように、展示室約30%、会議室は約40%ということでご報告を差し上げております。

当初計画なんですけれども、コロナ禍であったこともありまして、本来低めに設定していたというのものなんですけれども、その割に、実際コロナ禍ではあったんですけれども、感染者数が増えるごとに、これまで——もっと前ですね。開業は10月14日だったんですけれども、それ以前については、例えばちょっと感染状況が悪化してくるとイベント中止というようなことがよくありました。、開業後は1件ぐらいあったんですけれども、社会情勢的にもイベント中止がなくて、ほぼほぼ予約のとおりイベントが行われたという実態があります。

また、八王子を中心に近辺の方々、この施設ができるということで、できたらまず使ってみようというようなことを皆さんおっしゃっていただいて、特に開業直後の10月、11月あたりはいろんな行事を先に入れていただいて、おかげさまで初年度から比較的堅調な稼働率を記録できたかと思っております。ちょっとご祝儀需要みたいなのところもあったということです。

あと想定していなかった事態ということなんですけれども、1つは、電気の工事の料金が高いというような意見がいろいろございました。特に地元の方からなんですけれども、工事の料金については通常の都区内の施設でやっているような料金とほとんど変わらない料金を設定しているんですが、やはりこの地域に初めて展示施設としてできたということで、皆さん、工事料金についてのご経験がなか

ったものですから、かなり高いというお話を受けましたけれども、これも資料に書いてありますが、地下に埋まっているピットの中の電源ではなくて、壁のコンセントのほうからも取っていい。壁のコンセントの場合は工事を行わないので、料金がそもそも要りませんよという話で、それでご納得をいただきまして、またその後、市内の電気工事業者さん等にも実際に下見をしていただいて、料金設定も市役所の皆さんとかもいらっしゃる中で、こういう設定でやっておりますというお話を差し上げました。市内のいろんな電気工事業者さんからは、むしろ安い金額で設定されていると。我々が請け負ったら、ここまで安くはできないのというお話もありまして、そのあたりの誤解は解消して、今は普通に設定料金でご納得をいただいているというような状況でございます。

以上です。

【園田委員】 ありがとうございます。

【加藤委員長】 ほかにいかがでしょうか。ご質問、お願いいたします。

【金子委員】 先ほどご質問があったこととちょっとかぶるんですけども、当初計画で会議室ですとか、施設の利用率10%というのは、確かにコロナ禍の中での計画設定ですのである意味保守的におつくりになられているという状況は理解ができる一方で、全体の10分の1の稼働率というのが計画としてそもそものかどうかという純粋な疑問があったものですから、計画をつくったときのお考えといいますか、想定というものがもう少しありましたら教えていただきたいということがございまして、質問させていただきます。よろしくお願ひいたします。

【松浦副センター長】 高橋靖さん、計画段階のところ、ご回答いただけますでしょうか。

【高橋副部長】 日本コンベンションサービスの本社で応募のときにちょっと担当しておりました高橋と申します。よろしくお願ひいたします。

ご質問ありがとうございます。今のご指摘のとおり、正直に言ったらあれですけども、かなり保守的な数字であったことは事実でございます。一方で2019、2020年あたりの、コロナが本当に先の見えない状況にあったものですから、そのあたりの稼働率の設定というのは、我々も提案するときかなり苦労したところでございます。

実際にどのようにしたかというご質問だったと思いますので、当時のことをお話し申し上げます。今回、当時の多摩産業交流センターの公募の段階で、我々も多摩地域の類似施設をいろいろ需要調査といいますか、状況調査を可能な範囲で行いまして、八王子市内の展示施設、会議施設みたいな、いわゆるMICEというところの施設であるとか、ちょっと競合といいますか、類似の規模感で考えているのは、立川市のパレスホテルさんのバンケットといいますか、そちらで大体1,000平米ぐらいということで、規模はちょっと違うんですけども、パレスホテルさんの稼働状況みたいなものも、公になっているもの全てではないので可能な範囲でということになるんですけども、そういったところを踏まえて設定したところでございます。

あと、ちょっと細かい部分になるんですけども、展示室と会議室の需要のところのバランスというのも当時検討はしておったんですけども、多摩地域で最大の施設ということで、そのあたりは我々のほうでも検証といいますか、当時の設定が難しかったものですから、提案のときは展示室、会議室、ともに10%と同じような想定でさせていただいたという経緯でございます。

以上でございます。

【金子委員】 詳細にありがとうございます。

【加藤委員長】 いかがでしょうか。

【喜多委員】 もうほとんど質問していただいたのであれなんですけれども、特に新しい施設とい

うことで、これからの期待も込めて、先ほどちょっとお話の中でご祝儀的なご利用もあったということなんでしょうけれども、そういった、一度利用していただいたお客様がまた継続して利用していただけるような、前からある建物なんかはいろいろご苦労なさって、そういった顧客の維持向上を図っているところで、まだ新しい施設ですごく立派な施設だと思うんですけども、そこに甘えることなく今後も励んでいただければいいと思いますので、今後の繁栄を祈っております。どうぞ頑張ってください。よろしく願いいたします。

以上です。

【石井センター長】 ありがとうございます。

【加藤委員長】 ほかにご質問ございますでしょうか。

それでは、私のほうから2点ほどお聞きしたいと思います。先程来、出ておりますけれども、新規の開業ということでございますので、計画と実際におやりになったときの違いというのが多々あったかなと思います。1つは予約についてです。こちらの報告書の中にも書かれている予約管理チームが3名から6名になったというのは、この6名というのは私のほうは理解不足で恐縮なんですけれども、1日当たりですと何人体制で予約を管理なさっていらっしゃるのかということが1点でございます。

もう1点は利用促進ということで、多摩地域の市の産業関係のところに訪問なさったというような記載がございますけれども、この中で残念なんですけれども、奥多摩とか、瑞穂だとか、そして檜原とか、そういう町と村に対しては訪問はなさらなかったのか。さらには、多摩地域はどちらかといいますと、16号線沿いのいろんな連携をやっておるわけでございますけれども、近隣の神奈川、埼玉とか、そういったところとの連携についてどうお考えになって今後どうなさるかということについてお聞きできればと思います。よろしく願いします。

【松浦副センター長】 ご質問ありがとうございます。

まず、最初の予約の管理体制のところについてお話しさせていただきます。現在6名ということで行っておりますけれども、9時から21時が開館時間になっていますので、A勤務、B勤務という形で、早番は2名、遅番は2名、これは最低人数なんですけれども、4名が1日に必ず入っているという状況で回しております。土日も稼働しておりますので、シフトですね。予約管理は6名おりますけれども、センター長、副センター長、あと施設管理のマネジャー等も含めた形で、必ず4名は在籍をしているという状況で毎日回しているという状況です。3名では、とてもシフトは回らなかったなというところが。

【加藤委員長】 それについてなんですけれども、予約というのは、そんな人数がいるということは電話等の応答なんですか。コンピューター上での処理ではないんでしょうか。

【松浦副センター長】 予約コーディネーターの業務なんですけれども、予約の受付もちろんございますが、かなりの頻度で見学、視察があります。この対応に相当に取られてしまうので、かつ電話の対応には必ず事務所に誰かいないといけないので、そのような形でございます。特に7室ある会議室の細かい視察対応に、皆さん、かなりいろいろいらっしゃるの、どうしてもそういった形で人数が必要になってくるということでございます。

【加藤委員長】 そういう意味では初年度ということで、皆さんといいますか、いろんなところがお問合せといいますか、見学だとか、そういう内容が多かったということで、最近ですとどうなのかわかりませんが、予約管理につきましては、これほどの人数は要らないのかなという感じもするんですけども、その辺いかがですか。

【松浦副センター長】 実際の業務は予約の部分だけではなくて視察対応ですとか、あと備品の出し入れですね。机とか、椅子ですとか、そういったものの用意もございますし、あと予約を受け付けた後の利用者とのやり取りですね。図面を出していただいたり、備品の発注を受けたりですとか、様々な質問が来ますので、単純に第1会議室予約、何時から何時入りました、それで終わりというわけではなくて、イベントの開催当日までいろんなことが動きます。その面も含めてコーディネーターの仕事が入っていますので、計画段階と、やっぱり蓋を開けてみてどういう仕事があるのかで変わってきたところかなとは思っております。

【加藤委員長】 分かりました。

【松浦副センター長】 ありがとうございます。

続きまして、多摩地区内の市町村については、石井が実際に回りましたので。

【石井センター長】 私1人ではなかったんですが、一応、多摩地区30市町村の産業振興の部署と観光関係の部署。ですから、先ほど瑞穂とか奥多摩というお話をいただいたんですけども、こちらも全部訪問させていただきました。我々のたま未来メッセの設立趣旨というんですか、多摩地区の産業振興というようなものをやるということで、ぜひともこれから一緒にご協力を願いたい、あるいは、いろんな提案をするのでご協力いただきたいというような形で初年度は営業を展開させていただいた。まだ1回で、ちょっと間がたったので、再度訪問して需要の掘り起こしとか、そういったものはこれからやっていかなければならないなと思っております。今いただいたとおり、大事な話だと思いますので、商工会も含めて30市町村を再度訪問し直す必要性もあると。ただ、ともかく1回はご挨拶回りをさせていただいているというのが現況でございます。ご指摘ありがとうございます。

【加藤委員長】 その点、市はよく分かりましたけれども、多摩地域ですと、TAMA協だとか、いろんな周辺地域と連携を図っているわけですけども、そういったところへのご計画というのは、これからどうでしょうか。

【石井センター長】 もうちょっと幅広くやっていく必要があるかと思えます。今、それ以外の横浜、要するに神奈川県だとか埼玉県というお話がちょっとあったんですけども、まだそこまできなかな手伸ばし切れてはいないんですけども、相模原市と近くであるということと、やはり人口インパクトが大きいので、そういったところについてはいろいろご協力のお願いだとか、こちらのイベントをやるに当たっての参加者の促進だとか、そういったことをお願いをさせていただいております。様々な面で、今、新しい提携だとか、協働だとか、そういったものはぜひともやっていきたいと思えますので、また教えも請いたいと思えますし、我々もいろいろ手探りでやっていく必要があると。初年度はそこまでちょっと手を伸ばせてないので、ぜひともそういったことを今後視野に入れながら動いていきたいと思っております。すみません、ありがとうございます。

【加藤委員長】 今後に期待しておりますので、よろしく願いいたします。

そのほかはいかがでございましょうか。特によろしいでしょうか。

(「なし」との声あり)

【加藤委員長】 それでは、質疑応答は以上とさせていただきます。

指定管理者の職員の方は、ここでご退席をお願いしたいと思います。どうもありがとうございました。

(指定管理者職員 退席)

【加藤委員長】 では、先ほどの事務局からの説明、質疑応答を踏まえまして、評価委員会としての評価をまとめたいと思えます。

事務局から一次評価が示されておりますけれども、これまでの議論を踏まえてご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、評価委員会の評価につきましては、ただいまのご質問等々でございました点を反映した形でまとめさせていただければと思います。ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

【加藤委員長】 ご異議がないようですので、本評価委員会の評価でございますけれども、「A」といたします。

本日の議題は以上でございますが、これまでの議題に関しましてのご質問、また、この評価委員会につきましてのご意見等がございましたら、ここで頂戴できればと思いますけれども、いかがでございますでしょうか。特によろしいですか。

(「なし」との声あり)

【加藤委員長】 それでは、議事が終了しましたので、進行を事務局に戻させていただきます。

【西野課長代理】 加藤委員長、どうもありがとうございました。

以上をもちまして東京都立産業貿易センター及び東京都立多摩産業交流センター指定管理者令和4年度評価委員会を閉会させていただきます。長時間のご討論、ありがとうございました。